

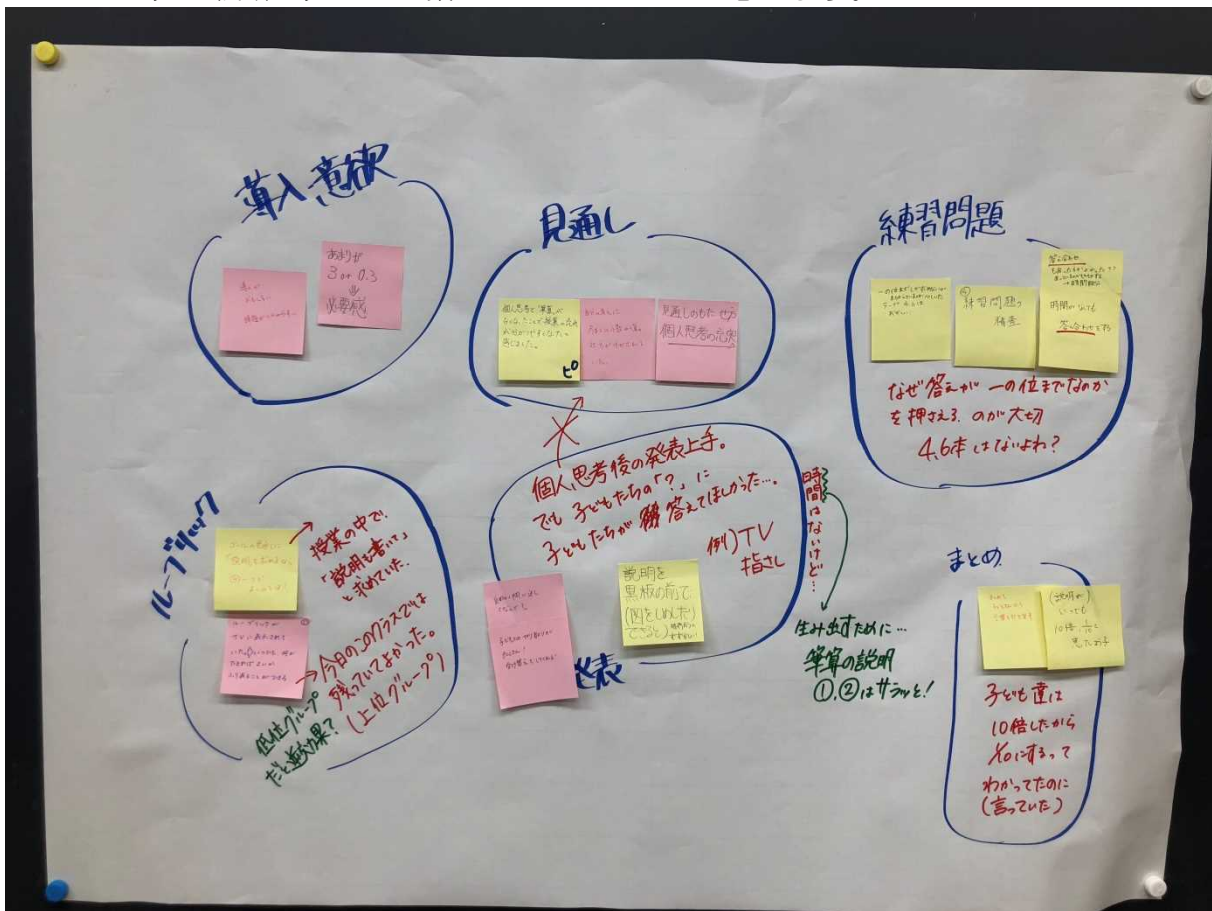
# 研修便り



研修部  
平成30年  
7月10日  
vol.7

## 全校研Ⅰ（高フ口）事後研

先日の研修、ありがとうございました。鈴木先生の授業後に、各グループに分かれ、授業づくりの視点に沿って意見や質問を出し合いながら検討を行いました。今回の授業研で出た考えを簡単にまとめましたのでご覧ください。また、ぜひ話し合われた内容や指導案、授業を参考に、ご自身の指導にも生かし、全校研Ⅲ、Ⅳにも繋げていただけたらと思います。



### 授業づくりの視点①

- ① 導入に工夫があり、課題を掴みやすい。
- ② 児童の実態に応じて、ルーブリックの提示の仕方を変える。（ずっと掲示は上位には効果的？）

### 授業づくりの視点②

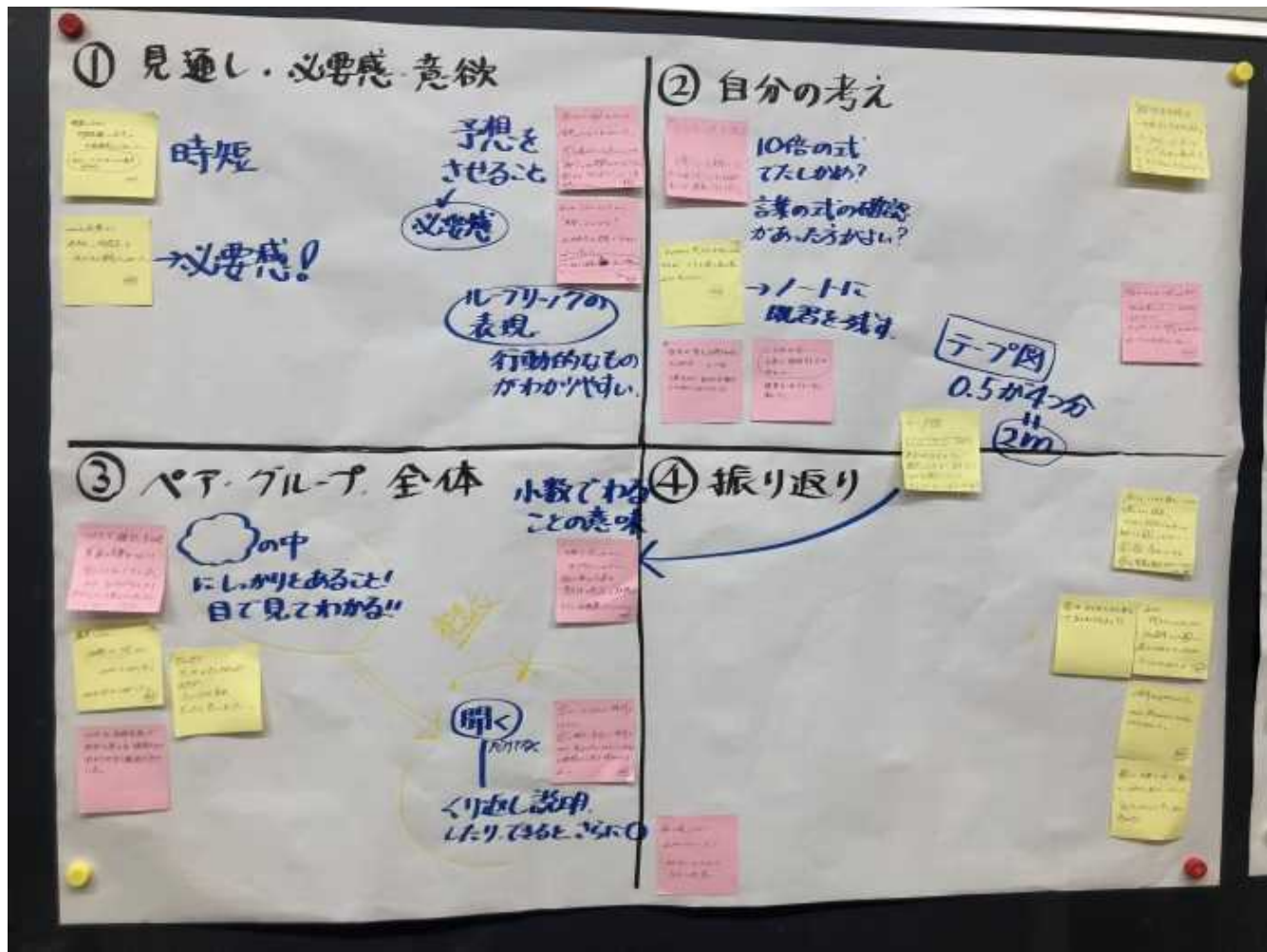
- ① 見通しのもたせ方の工夫で、個人思考が充実する。

### 授業づくりの視点③

- ① 全体交流では、子どもたちの疑問を、子どもたちの言葉で繋いで解決へ。

### 授業づくりの視点④

- ① 子ども言葉で、まとめをする。



### 授業づくりの視点①

- ① つかむの段階で共通点と相違点を伝えさせる発問があって良かった。
- ② ねらいを大切にしている指導の焦点化（問題把握&立式は口頭）→時短
- ③ △ 予想させることで必要感がもてる。
- ④ △ ループリックでは、具体的な行動で示すと良い。
- ⑤

### 授業づくりの視点②

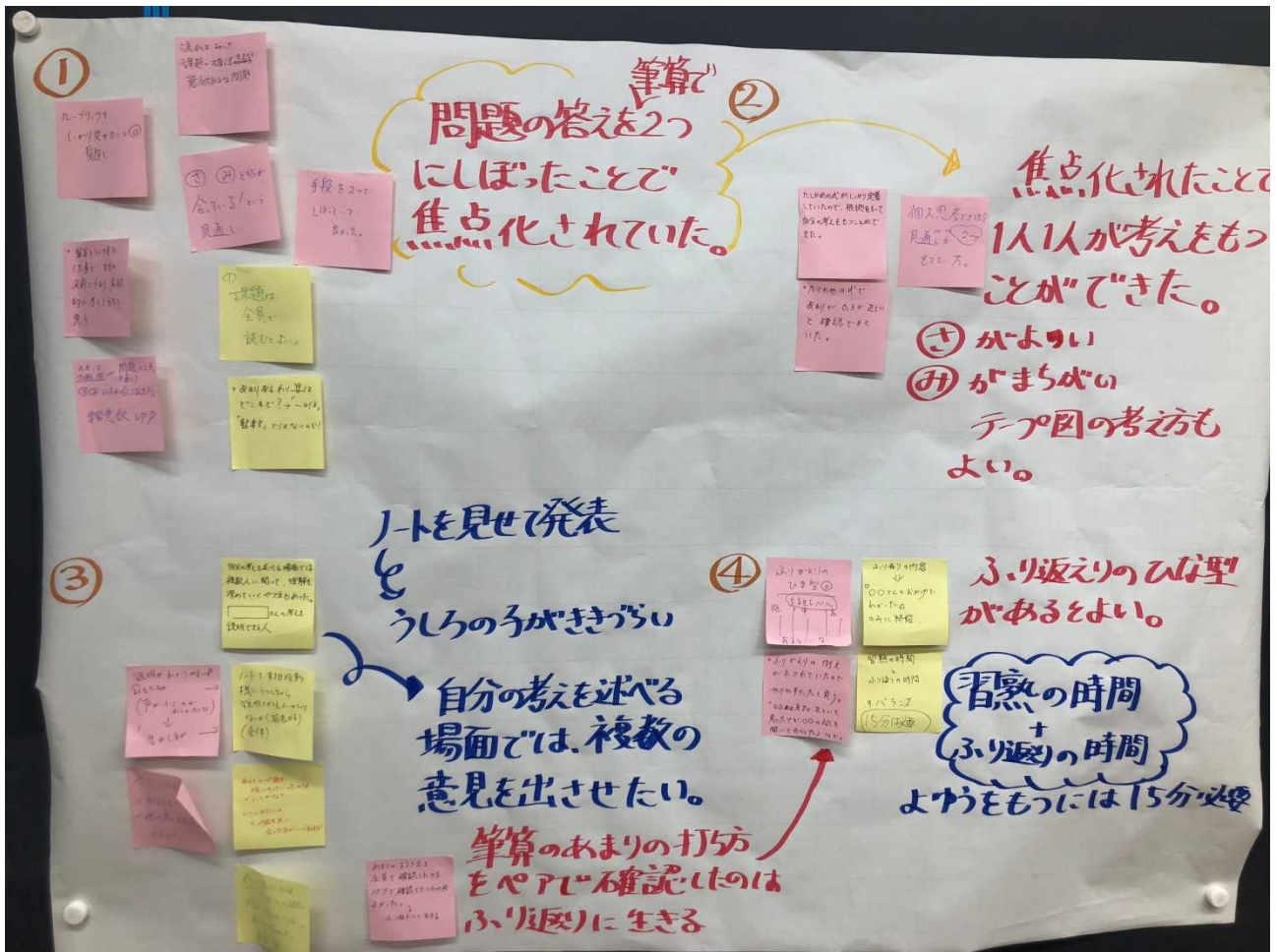
- ① ノートを振り返るように、ノートに既習を残す。
- ② 見通しが二択なので、自分の立場をしっかりとてた。→見通しの焦点化◎
- ③ △ 自分の考えをもてない子へのケア（友達の考えを聞いて、わかるようになる）  
→書く時間の確保も必要か。

### 授業作りの視点③

- ① △ 考えの取り上げ方の工夫（具体物→式、少数派→多数派 など）
- ② △ 教師の説明量多い 児童の発言を区切り、問い返すことで児童の発言量を増やす。
- ③ 板書の中に説明がある→視覚化されている◎
- ④

### 授業づくりの視点④

- ① △ まとめは子どもの言葉 or 子どもの介入が多いとよい。
- ② △ 練習問題の答えの確認は必要。
- ③ 振り返りを書く文章力は、日々の成果→普段から続けることが大切。



### 授業づくりの視点①

- ① 問題の答えを2つに絞ったことで見通しが焦点化されていた。
- ② 問題（見通し）の工夫により、学習意欲がUP！（先生の名前）

### 授業づくりの視点②

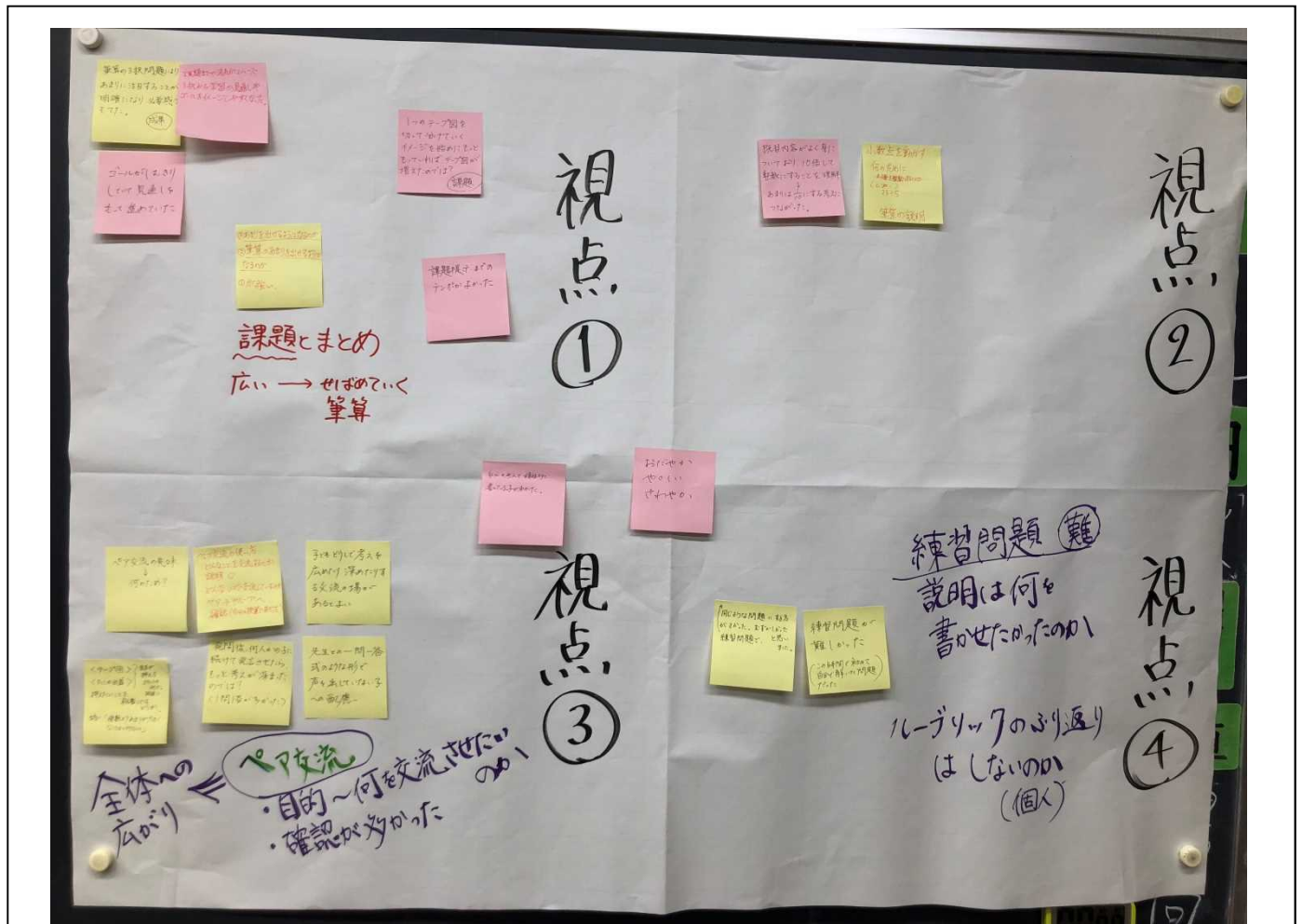
- ① 既習事項を理解していたので、自分の考えをもてた。→既習事項の定着
- ② 焦点化されたことで児童が考えを持つことができた。

### 授業づくりの視点③

- ① ノートを実物投影機に映して説明させる。（全員に伝わる）
- ② 自分の考えを述べるときは、複数の意見を出させる。
- ③ 振り返りに繋がるペア学習。

### 授業づくりの視点④

- ① 振り返りの雛形◎
- ② △ 習熟の時間と振り返りの時間のバランス



### 授業づくりの視点①

- ① 三択にすることで、学習の見通しやゴールをイメージしやすくなり、テンポアップ。
- ② 解決の見通しが2つの時のバランス。(偏りすぎない)
- ③ △ 課題とまとめ (課題が広いと、まとめがぶれる)

### 授業づくりの視点②

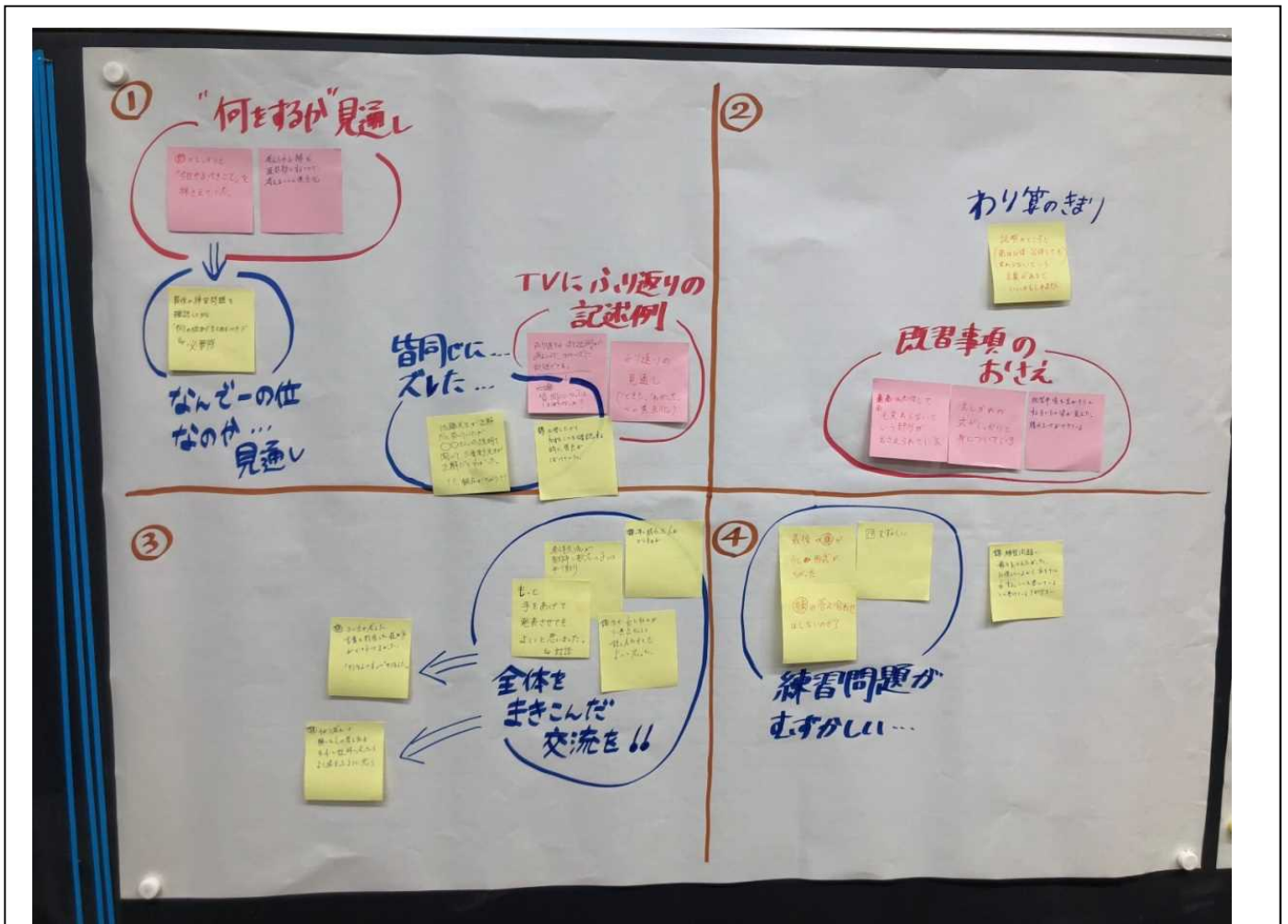
- ① 既習事項を理解しているので、説明まで繋がる。

### 授業づくりの視点③

- ① △ ペア交流の目的を明確に。(わかりやすく)
- ② △ 一問一答のとき、声を出していない子への配慮。
- ③ △ 子ども同士で考えを広げたり、深めたりする場があるとよい。

### 授業づくりの視点④

- ① 振り返りの雛形◎
- ② 練習問題を解くための手立てが必要



### 授業づくりの視点①

- ① 考えられる答えを選択することで考えることを焦点化できた。
- ② △ 最後の練習問題を解くための見通しも、しっかりもたせる。

### 授業づくりの視点②

- ① 既習事項をしっかりと理解していた。既習事項の定着◎

### 授業づくりの視点③

- ① △ 全員を巻き込んだ交流をするべき。(教師と数名の児童では少ない)
- ② △ 子どもが考えた言葉を利用した進め方が大切(そうなんです→そうなんだ)
- ③ 自分とは違う考えを説明し合う

### 授業づくりの視点④

- ① △ 練習問題の答え合わせはするべき。
- ② 形式が違う練習問題を解くための手立てが必要。
- ③ 振り返りの記述例があると、スムーズに記述できる。  
(みんな同じにならないように注意)
- ④ 提示する記述例は、目指す振り返りとずれないようにする。